

## 2019年度日本語教育実習 レポートその1

### [レポートのトピック]

今学期の体験を振り返り、自らの変容を分析し、これからの抱負を記す

先学期は、中国からの留学生への日本語授業（主に発音指導とロールプレイ）をしました。今学期は、教案作成、教材準備、マイクロ・ティーチング、北九州 YMCA での日本語授業見学、教壇実習と、様々な体験をしてきました。あなた自身は、これらの体験を通して、どのように変容してきたと思いますか？そして、もし今後、日本語を教える立場になったとしたら、どのように変容していきたいと思っていますか？それらについて、分かりやすく記しなさい（記述形式は自由）。

### ポイント

1. まずは、先学期の終わりに書いたレポートと「私の日本語教育哲学」を読み返しましょう。あの頃感じたことと、現在のみなさんが感じていることを比較して、共通点と相違点を見つけましょう。
2. 今学期の体験は、新たなことの連続だったと思います。初めて体験したときの、戸惑いや困惑を思い出しましょう。それに慣れていくプロセスで、どのような意識変化、そして言動の変化がありましたか？これらのことを具体的にピックアップしてみましょう。
3. 今学期の最期の段階で行われた「教案作成」「教材準備」「マイクロ・ティーチング」「北九州 YMCA での教壇実習」では、どのような苦しみがありましたか？また、嬉しかったこと・進歩したなあと思えることがありましたか？プロセスを思い出し、そして実際の授業を DVD で何度も観て、振り返ってみましょう。
4. 大切なことは、「成長をしている自分自身を、ちょっと離れた目で意識しようとする事」です。自分の変容を具体的に記すことによって、意識化が始まります。そして、自分の現在地点が意識できたら、「次はこうやりたい！」という思いが出てくることと思います。それが「これからの抱負」です。

### 評価基準

- \* 変容の記述（70%）
- \* これからの抱負（30%）

枚数： A4 2枚 3,000字程度。\*これより多くなっても全く構いません！

\*表紙のページは、必要ありません。

提出締切日時：1月9日(木) 正午

前期同様、メール添付で提出してください。1月9日の授業に、レポートを人数分プリントアウトしたものをホッチキスで留めて、持ってきてください。1月9日の授業では、レポートの内容を各自3～5分程度、発表してもらいます。（レポートを読み上げるだけの発表はNGです！）